

報 告

ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド ONLINE

鈴木 基恵

横浜市総合リハビリテーションセンター

1. はじめに

ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド（愛称：ヨッテク）は2001年にパシフィコ横浜で第1回目が開催されてから今年で第19回目を迎える予定だった。しかし、COVID-19の影響により中止が余儀なくされ、夏のイベントの1つとして定着してきたヨッテクにも暗い影が落ちた。

中止の発表後、利用者や出展企業など各方面から惜しむ声や励ましの言葉、来年の期待などさまざまな声があった。そこで、この状況だからできること、伝えたいこと、その情報発信の方法として今年のヨッテクはオンラインで開催することとなった。

2. ヨッテク ONLINE の概要

会期は10月2日（金）～3日（土）、ヨッテク公式ホームページ（<https://yotec.jp/>）にて配信した（2021年3月末まで公開予定）。2日間の閲覧者は約1,500名、ページビュー数は約5,000回、居住地は横浜市が最多だが、神戸市、大阪市と遠方が続いた。

トップページは閲覧者が興味、関心ある情報に到達しやすいよう6分類（カテゴリ）とし、写真や見出しを付記した（図1）。コンテンツは3分程度の動画16本の他、製品情報、ライブ配信等を行った。

3. カテゴリ

3.1 介護 / 福祉用具博

介護が必要な高齢者・障害者、介護者向けに、コミュニケーションツールやベッド上のポジショニング方法、介護ロボットを特集した。理学療法士、作業

療法士から製品の使い方、選定方法を、専門職独自の視点でまとめた。

3.2 ハマパラスポーツフェス

障害者スポーツに焦点を当て、横浜ラポールの利用者による体験談からアスリートによる競技解説など、スポーツのもつ奥深さを様々な角度から切り取った。特にGoPro®を利用したアスリート目線での動画は迫力満点だ。ボッチャは屋外や会議室など手軽にできる方法を体育指導員が紹介している。

3.3 こどもっと Festa

障害児とその家族がみて、楽しめ、役に立つ情報をまとめた。昨年のヨッテクで大好評だった座位保持装置付きブランコの他、おもちゃ、発達障害による感覚特性を紹介。おもちゃはこどもたちが喜ぶ視点を保育士や児童指導員らが模索し撮影、後片付けまで一連の流れでみられる。

3.4 暮らしを彩るプラスワン

外出を中心に、QOL向上に関する内容をまとめた。横浜市営バスの乗務員対応や、栄養士による健康づくりのヒントなど盛りだくさん。聴覚相談員による聞こえない方とのコミュニケーションは、実体験に基づく内容のため必見だ。

3.5 お役立ち製品情報

車椅子、バギー、福祉車両を中心に、2019年の協賛企業・団体の協力の下、製品情報をまとめた。各製品とも細分化し、選定ポイントを付記した。

3.6 Special Contents

心魂プロジェクトによるオープニングパフォーマンス、ペーパークラフト等を用意。ヨッテク・オン・ライヴ!と題したライブ配信は、1回30分程度、動画で伝えきれなかった自助具やボッチャ実況解説など、YouTubeライブで実施した。その場で質問を受け、回答するなど双方向でのつながりを持った。

2020年も、みんなとつながりたい。
ヨコハマヒューマン&テクノランド
ミ ONLINE ミ

情報エリア 開催概要 2019年ご協賛いただいた皆さま これまでの開催情報



- 介護ロボット相談窓口
- 思いを伝えるコミュニケーションツール
- クッションのあて方レクチャー

➡



- 車いすバスケットボール
- 電動車椅子サッカー
- 車いすラグビータックル体験
- リハスポーツで広がる可能性
- どこでも ボッチャ
- FMヨコハマ F.L.A.G. 「ハマバラ」

➡



- おもちゃだいすき♪
～最後はしっかりおかづけ～
- ブランコの紹介
- あなたの知らない感覚の世界
- バギー大集合

➡



- 車椅子・バギーでバスに乗ってみよう
- 屋外での車椅子介助のコツ
- おしゃれして出かけよう
- 音や聞こえを快適に
- ラボール健康相談コーナー
- 車椅子でもオートバイに乗れる！

➡



- 車椅子
- 福祉車両
- 暮らしを助ける機器・用具
- 子ども向け製品

➡



- ヨッテク・オン・ライブ！
- ヨッテク・ペーパークラフト
- Integrated Dance Company 韶-Kyo
- バック・トゥ・ザ・2019

➡

図1 トップページ

4. おわりに

会期終了後も情報提供できること、重度障害児者、遠方者など今まで参加できなかつた人たちとつながることは、オンライン独自の強みだ。会場というリアルとオンラインは一対であり、今後、ハイブリッド開催が求められる。社会の潮流とともに形を変えな

がらさまざまなニーズに合うよう専門職が考え、企画、運営するヨッテクを楽しみにしていただきたい。なお、ヨッテク ONLINE は 2021 年 3 月末まで公開のため、ぜひご覧いただきたい。

最後に今回、動画撮影や製品情報に協力いただいた企業、団体の皆様に感謝する。